

2020年2月12日

ベルナール・オーストロム AIPH 会長様

我々は、今の時代における緑の重要性を、国際園芸博覧会などの活動を通じて社会に再認識させ続けている AIPH の活動を高く評価しています。

日本は、アジアで初の A1 クラスの国際園芸博覧会を 1990 年に大阪市の鶴見緑地で開催し、大きな成果を上げることができました。横浜市が提案した国際園芸博覧会は、2015 年に日本政府に返還された旧上瀬谷通信施設跡地において、「幸せを創る明日の風景」をテーマに 2027 年に開催されることになっています。また横浜市は A1 国際園芸博覧会に関する規則を遵守することを約束しております。日本政府の農林水産省と国土交通省は、この国際園芸博覧会は 2030 年为目标年次である国連の SDGs の実現に向けたモデルの提示、グリーンインフラの実現、花き園芸文化の振興を通じた農業・農村の活性化等の観点から、国が関与して開催する意義が認められると判断いたしました。

この書簡により日本国政府は 2027 年に横浜市が開催を表明している A1 国際園芸博覧会を支援します。

江藤 拓
農林水産大臣 (署名)

赤羽 一嘉
国土交通大臣 (署名)